

社会教育指導員の部屋

2021.6月

生涯学習課 社会教育指導員 伴野 洋子

地球上の「誰一人取り残さない」(2)

6月30日、東公民館主催の「SDGs ってなんだろう」4回講座のうち、第2回「家庭の省エネについて(講義)～講師のエコ住宅見学～」に参加しました。講師の小池さんは、「第2の人生自然に寄り添いながら心豊かにゆったり



とした人生、後世に良い環境を残すため、農業・エネルギー等様々な面で自分の出来ることを行動に移すことを考え、食べ物・エネルギーの自給自足100%に挑戦」を実践しています。

自宅をエコ住宅に建替え「太陽光発電」「太陽熱給湯システム」「ソーラークッカー」など取り入れ、H20年には電力自給率104.5%達成。風力発電は蓄電し外灯等に利用しているそうです。また屋根に降った雨水をタンクに集め、トイレの洗浄水・自動車の洗車・植木や野菜の散水などに再利用するなど、お話を聞きながらますますエコ住宅見学が楽しみになってきました。小池さんは食べ物についても現在自給率95%、米・麦・そば・豆類を作り、味噌・醤油・納豆・豆腐からうどん・パン・コンニャクまで手作りしているそうです。本当にビックリです！

毎年作るグリーンカーテン(ゴーヤ)は①二酸化炭素を吸収②日陰で涼しい(グリーンカーテンの外側が48.2℃の時、内側は34.6℃と14℃の差がある)③冷房稼働時間減少④花を楽しむ⑤ゴーヤの収穫と「一石五鳥」(小池さん曰く)だそうです。

講義後、小池さん宅におじゃましました。とにかくアイデアと工夫がいっぱい！天気なら、ソーラークッカーでお茶を入れたり、目玉焼きなどの料理も作るそうです。現在、自動車や農業機械の運転は化石燃料に頼っているとのことでした。

取り組みの一部を紹介します

外観とグリーンカーテン 屋根一面ソーラーパネル

雨水を溜めるタンク（地下タンクも有）

風力発電・ソーラーパネル 蓄電して外灯に利用

ソーラークッカー

米・麦と雑穀（粟・ヒエ・アマランサス）

保存食

鶏の飼育開始！

小池さんの活動には、中学生体験学習の受け入れ・「アジア・アフリカ支援米活動、国際協力^{でんまい}田米運動」への取り組みなどがあり、H27年6月から長野県地域温暖化防止活動推進員としても活動されているそうです。今後の小池さんの活動の進展や新しい取り組みを知る機会を楽しみにしています。